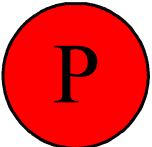
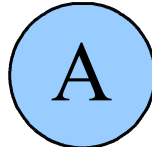
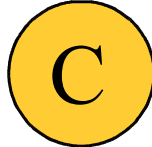
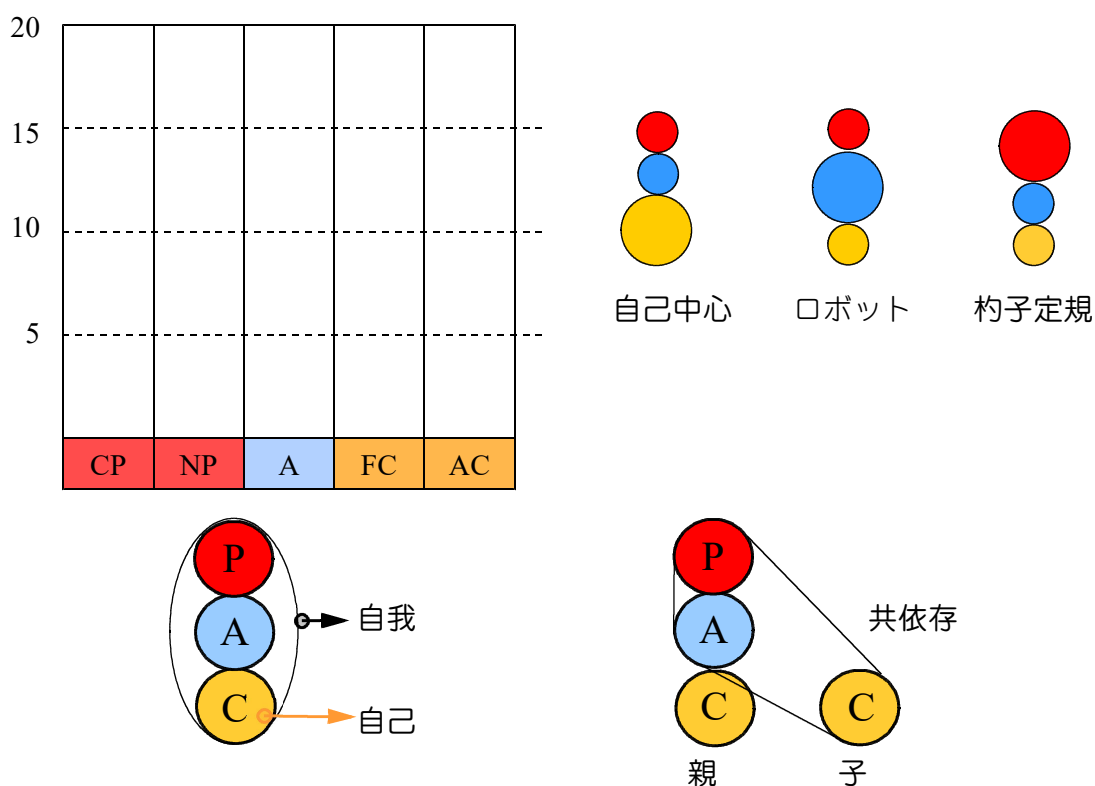


■ 自我形成

	養育者から子供へファイリングされたもの 3歳～ Control Parent : <u>規律、けじめ、厳格、偏見</u> Nurturing Parent : <u>道徳、世話、思いやり、過保護、おせっかい</u>
	今ここでの判断 1歳半～ adult : 合理的、客観的判断、データ主義、冷静
	感情0歳～ Free Child : <u>自由、元気、好奇心、創造性、衝動的、自己中心</u> Adapted Child: <u>素直、信頼、協調性、依存、不平不満、不自然な反抗</u>



■ 基本的信頼関係

ケアー的な養育を受けることによって自己愛(self-love)が育ち基本的信頼が芽生える。自立を促すことによって子供の自己愛(self-love)は対象愛(object-love)へと転化されやすくなり自己と他者のバランスがとれる。

自他境界（バウンダリー）

「人の話を聞いていると、まるで自分のことのように感じて疲れる」

「周囲の決めたルールや価値観に、不満を感じるけど逆らえない」

「自分勝手に思われるが怖くて、意見を表明できない」

自他境界の揺らぎはメンタルの不安定さにもつながります。

基本的信頼（ケアー的養育）

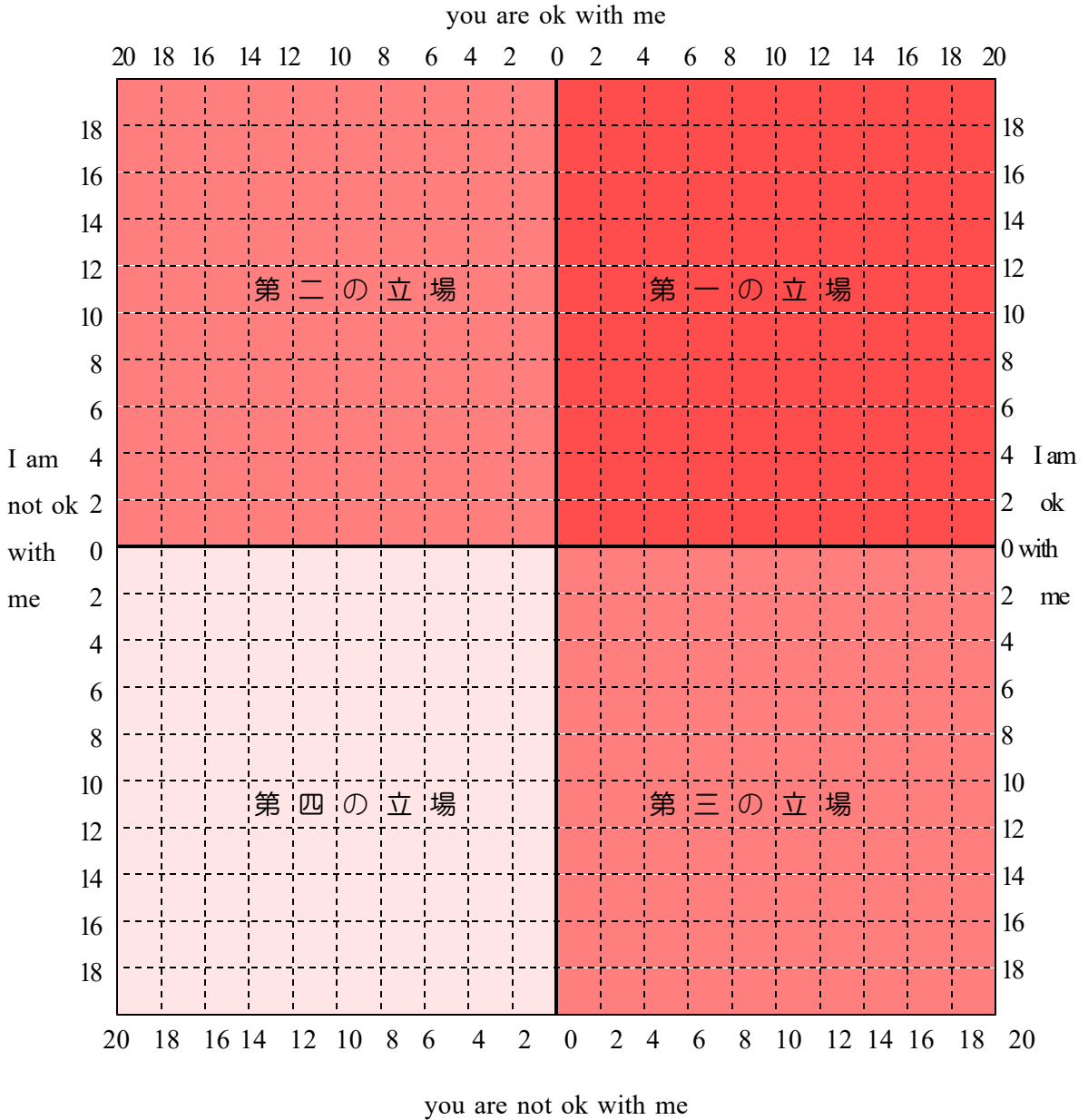
乳児にとって養育者は全てのエネルギーを自分に向けてくれ存在です。そして養育者は自分が一日一日と成長する様子を見て喜んでくれる存在です。

人間にとって、生まれてから歩けるようになるまでの短い間は、大変重要な意味を持っています。「養育者は、自分にとって OK であり、自分もまた OK である」という事を実感しながら信頼関係を築いていきます。この体験を「基本的信頼」と言います。

OK である		OK でない	
・ 存在価値がある	・ 愛されている	・ 存在価値が無い	・ 愛されていない
・ 信頼されている	・ 優れている	・ 不信感がある	・ 劣っている
・ 安心できる	・ 正しい	・ 不正である	・ 不安である
・ 美しい	・ 楽しい	・ つまらない	・ 醜い
・ 強い	・ 能力が高い	・ 弱い	・ 能力が低い
・ 明るい	・ 素晴らしい	・ 甲斐性が無い	・ 出来が悪い
・ 望みがある	・ 生きがいがある	・ 希望が無い	・ 暗い
・ 健康である	・ 創造的	・ 不健康	・ 破壊的

■人生態度

生まれて間もない乳児の時に経験した「基本的な信頼」と、幼児期から児童期に体験した様々な基本的な信頼の歪みによって生じた基本姿勢がベースとなります。



■ストローク（存在認知の1単位）

心の安定を保ち、生きる意欲につながるふれあい

人は無視をされ続けると生きる意欲を失う

ルネスピッツ

55人中27人が2年以内に死亡し、残った子供も17人が成人前に死んでしまい

11人は成人後も生き続けたが、その多くには知的障害や情調障害が見られた。

- ・スーザン、2才で生後5ヶ月の体重と、10ヶ月の身長 母性的愛情欠乏症候群
- ・小学校2年生と同じ体格の18才(福岡)
- ・酒鬼薔薇聖斗

■ストロークの種類

- ・精神的なもの、身体的なもの
- ・肯定的なもの、否定的なもの
- ・条件付きなもの、無条件なもの

	肯定的	否定的
身 体 的	■肯定的身体的ストローク ①子供の頭を優しくなでる ②乳児の背中を軽くたたきながら寝かせる ③かわいい子を抱擁する ④握手する ⑤肩をたたき合って喜び合う	■否定的身体的ストローク ①頭やほほを殴る ②尻をたたく ③つねる ④縛り上げる ⑤蹴飛ばす
精 神 的	■肯定的精神的ストローク ①ほほえみかける ②嬉しさを身体で表現する ③うっとり恋人を見つめる ④「お利口さんね」と優しく言う ⑤「良くやった!」を褒める	■否定的精神的ストローク ①怖い顔で睨む ②怒りを身体で表現する ③あざ笑う ④「コラ! 何してると怒鳴る」 ⑤「またやったのか!」と口汚くののしる

■ 4つの条件ストローク

■肯定的な無条件ストローク

「よくいらっしゃいました」「すばらしい」「あなたがいてくれて助かる」
「一緒にしたい」「どうぞ楽になさって下さい」

■肯定的な条件付きストローク

「あなたの作品はすばらしい」「〇〇してくれて有り難う」

■否定的な条件付きストローク

「〇〇することはいけません」「〇〇の部分がダメ」「あなたのソックス、嫌い」
「あそこがな～」「～をもうすこし」

■否定的な無条件ストローク

「嫌い」「ダメだ」「むり」「来ないで」「触らないで」叩く、蹴る

ストローク			
＋肯定		－否定	
ほほえむ、褒める、スキンシップetc...		睨む、怒鳴る、叩くetc...	
条件付き	無条件	条件付き	無条件

★叱るときは条件付き

★褒めるときは無条件

■ ストローク飢餓

肯定的ストロークがもらえないとたとえ悪くてもないより増しなのでストロークを求める行動を取る。甘えさせてもらえなかった経験は恨みの感情につながる。手が出る、意地悪をする、よく泣く、トラブルを起こす等、考えてみましょう。

■ 親のストローク操作

「わばまま言わないの」

「ちょっと褒められたぐらいで天狗になるな」

「80点ぐらいで喜ばないの」

褒められない認められない

説教をコンコンとする

良いストロークを欲しがるな

良いストロークを受け取るな

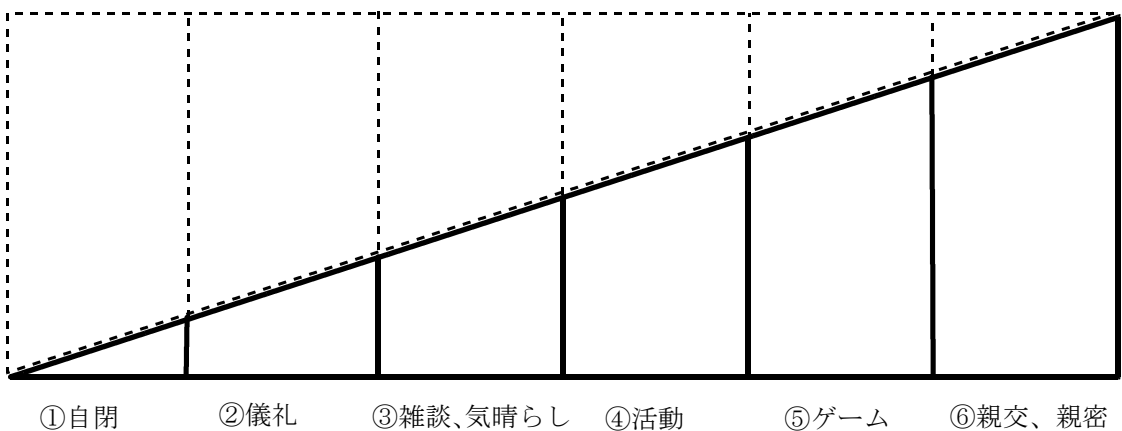
良いストローク自分に与えるな

良いストロークを人に与えるな

一のストロークを拒否するな

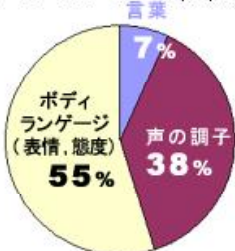
■ 時間の構造化

ストローク密度



■ 言葉と態度の一致

〈メラビアンの法則〉



「幼稚園は楽しい所だから頑張ってね」

「もう！お友達にはもっと優しく言いなさい」



言葉と態度（表情）

子供も言葉ではなく、態度（表情）、声に反応します。
怒る ↔ 疲れる

「ハイ」は2

「イエエ」は0

「どちらでもない」
は1

1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47					
48					
49					
50					
	CP	NP	A	FC	AC
	P			C	

